

2017年2月15日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会  
ドイツメッセ日本代表部**世界最大 B to B の IT 関連専門展示会** CeBIT

セビット

**「CeBIT 2017」ドイツでの開幕まで約 1 カ月****～革新的デジタル技術が結集、日本は“パートナーカントリー”として過去最大規模で参加～**

ドイツ・ハノーバーで2017年3月20日から5日間にわたって開催される「CeBIT 2017」（セビット／国際情報通信技術見本市、主催：ドイツメッセ株式会社／ドイツ・ハノーバー）は、B to BのITソリューションに関する世界最大の展示会で、IoT、ビッグデータ、クラウド、セキュリティなどITビジネス分野から世界約70カ国・地域が出展します。

仮想現実（バーチャルリアリティ/VR）、AI（人工知能）、サイバーセキュリティ、自律システム、ヒューマノイドロボットといったデジタル最新技術に注目が集まる「CeBIT 2017」に、日本は“パートナーカントリー”として参加。大手グローバル企業から、中小・スタートアップまで過去最大規模の出展となります。

**CeBIT 2017 トピックス**

※本稿はドイツメッセ発行ニュースリリース（2017.1.25発行／CeBIT 2017 – an immersive world of digitalization）をもとに翻訳・編集しています

本文は下記ご参照（英語）

ka<http://www.cebit.de/en/register-plan/for-journalists/press-releases/pressreleases-deutsche-messe/cebit-2017-an-immersive-world-of-digitalization.xhtml>

「CeBIT 2017」では、革新的技術による貢献、新たなビジネスモデル及び利用シナリオといったように、産業界や政界・財界のデジタル・トランスフォーメーションで求められるあらゆる要素が盛り込まれます。

来場者は、かつてない方法でデジタル化の具体的世界を実感することができます。会場では、各出展者が現実的な利用シナリオを紹介するとともに、相当数のスタートアップ企業が革新的ビジネスモデルを紹介予定。会場内で行われる「CeBIT Global Conference（グローバル・カンファレンス）」では、産業界や社会におけるデジタルの今後を探求します。

**■3月19日の「CeBIT 2017」Welcome Night（ウエルカム・ナイト）では、世界中より2000人を超えるVIPが集結。**

日本は、CeBIT 2017に“パートナーカントリー”として参加します。毎年、会期前日の夜に開催されるWelcome Night（ウエルカム・ナイト）には、パートナーカントリーのトップと、主催国であるドイツ首相が参加するなど、CeBITを盛りあげます。

今回、3月19日の夜に行われる「CeBIT 2017」のWelcome Night（ウエルカム・ナイト）で、今年の“パートナーカントリー”である日本の安倍晋三首相とドイツのアンゲラ・メルケル首相が登場予定です。

## ■デジタル・トランスフォーメーションの無限のチャンスを支援

今年のCeBITのトップテーマは「**d!conomy - no limits**」。デジタル・トランスフォーメーションの無限のチャンスに焦点を当てています。出展企業は、来場者に理想的なデジタル化の利用シナリオをデモンストレーションし体験してもらいます。

また、この展示会は、産業界のみならず広く社会に向けて情報発信するもので、これによりデジタル化が実社会で現実のものになると期待されます。デジタル革新は、産業界や社会に可能性をもたらす全く新しい世界への幕開けとなります。デジタル・トランスフォーメーションを成功に導くため、各企業がこれを認識し活用できるようにすることが、「CeBIT 2017」の目指すところ です。

## ■広がるAIの利用可能なシナリオ

特に産業界では、AIの利用可能なシナリオは広大かつ多様にあります。例えば、膨大なデータをより包括的に解析したり、革新的な新たな方法でデータセットを関連付けたりすることができます。他の例としては、顧客との対話へのボットシステムの使用があげられます。出展内容やプレゼンテーションにおいては、特にAIやコグニティブ・コンピューティング分野への多岐にわたる新たな利用に重点が置かれています。

併設の「CeBIT Global Conference (グローバル・カンファレンス)」では、グーグル社のエンジニアリング・ディレクターでAI専門家・未来学者としても世界的に名高いRay Kurzweil氏による講演等でAIが大きく取り上げられます。

また来場者は、人工知能を持ち人と相互交流するヒューマノイドロボットも見ることができます。日本のロボット工学の第一人者である石黒浩教授は、同カンファレンスで驚くほど同氏にそっくりなロボットを披露し、来るべき世界について大きなインスピレーションを提供します。

## ■商用利用に大きな可能性があるドローン

利用分野が多岐にわたるドローンも注目されています。ドローンや無人システムは、特に高性能データ分析などのデジタル技術を組み合わせると商用利用において大きな可能性があります。このようなドローンの統合的ソリューションは産業施設の調査や物流・輸送分野で既に使用され、非常に高い安全性と信頼性が報告されています。

バーチャルリアリティも同様で、バーチャルリアリティ技術はまだ初期段階ですが、様々な産業で非常に大きな期待が見込まれています。「CeBIT2017」では、VRやAR（拡張現実）への利用に焦点を当てたコーナーが設置されます。

IoTにおいてもドローンは新たなビジネスモデルを生み出す可能性と付加価値をもたらします。次世代5Gネット接続は飛行しながらの高速なネットワーク接続が実現するため、モバイルIoTが可能になります。これが契機となり自動運転車両といった全く新たなIoT分野への利用が進むものと考えられます。

## ■会場内で自動運転車両を実体験

来場者は、スイスポスの自動運転車両「スマートシャトル」に試乗し、Hall 13を回ってこの先駆的技術を実際に体験することができます。運転手がない自動運転技術など、多種多様なデジタル・トランスフォーメーションの具体的利用についての展示も目玉となります。産業界や政界・財界に、いかに首尾よくデジタル・トランスフォーメーションを実装し得るかを示すとともに、多数の実例を来場者に提供します。

競争力確保においていかにデジタル・トランスフォーメーションが不可欠であるか、またどのようにしてデジタル・トランスフォーメーションが驚くほど簡単に実装されるかをCeBITでは目の当たりにすることができます。

## ■ 短期間で大きな出費を伴わずにデータ主導型ビジネスモデルに移行できる

実際に、一連の現実的シナリオにおいて、企業・政府組織ともに短期間で大きな出費を伴わずにデータ主導型ビジネスモデルに移行できることが明白に示されます。例えば、Hall 3ではオフィスで用いられるデジタル技術にスポットライトを当てています。Hall 5では、エンタープライズ・リソース・プランニング（ERP）やプロセス設計分野への最善の利用の数々を取り揃えています。注目すべきは、自動車業界のバリューチェーンにおける個々のステップへデジタル化実装をデモンストレーションする展示です。一方、セキュリティ分野の展覧に重点を置いたHall 6では、combatハッカーやサイバー犯罪者に対するソリューションが盛り込まれています。

## ■ 400社を超えるスタートアップ企業が新規出展「SCALE11」

スタートアップ企業のホームベースとなるHall 11の「SCALE11」も、今年CeBITにおける目玉の一つです。40カ国から新規出展する400超の企業が、デジタル化は短期間でいかに新たな企業／ビジネスモデルを発展させていくかをデモンストレーションします。

SCALE11は、スタートアップが多数の既存企業に向けて、独自の新規開発技術とビジネスモデルを売り込む場でもあります。ここには大企業のドイツ鉄道、フォルクスワーゲン、マスターカードなどの大企業も名を連ねます。

さらに、Hall 11では、新たなビッグトレンドの全容をよく見渡すことができます。例えば、ブロックチェーン技術などの様々なデジタル技術の利用に焦点を置いたカンファレンスも開催され、これがスタートアップにとっての新たなビジネスモデルの重要な発信源となります。Hall 6で開催される「Research & Innovation showcase」には、有望な新規参画企業が多数集います。

また、ドイツ内外の最先端の研究機関や大学が参加し、この中から「2017 CeBIT Innovation Award」受賞者が選出されます。

## ■ ロボット工学者の石黒浩氏など著名人が登場の「CeBIT Global Conference」

「CeBIT Global Conference（グローバル・カンファレンス）」は、CeBITの最も重要なイベントです。今年のカンファレンスの講演者の顔触れは非常に素晴らしく、著名な講演者陣にはグーグルのエンジニアで未来学者のRay Kurzweil氏、有名なロボット工学者の石黒浩氏、スタンフォード大学教授で社会調査士のMichal Kosinski氏が含まれます。心理測定の専門家であるKosinski氏は、Facebookなどの一般アクセス可能なデータを分析して人の性格特性を判断する数学的方法を開発しました。講演者リストには、世界的にも有名な内部告発者であるエドワード・スノーデン氏といった人物も含まれます。スノーデン氏は、モスクワからライブストリーム配信を介して講演する予定です。

※出展企業・各イベントの詳細は、ドイツメッセ公式サイト[www.cebit.de](http://www.cebit.de)を参照してください。

### <CeBIT2017 概要>

名 称：CeBIT 2017（セビット2017／国際情報通信技術見本市）  
会 期：2017年3月20日（月）～24日（金）5日間 9時00分～18時00分  
開 催 地：ドイツ・ハノーバー  
会 場：ハノーバー国際見本市会場  
来場者数：約200,000人（前回実績・主催者発表）  
出展者数：3,300社・団体（70カ国・地域）（前回実績・主催者発表）  
主 催 者：ドイツメッセ株式会社  
出品分野：情報通信技術

### <ドイツメッセ株式会社について>

ドイツ・ハノーバーを本拠地とするドイツメッセ株式会社は、ドイツの見本市主催企業の中で上位5社の位置を占めており、世界中で見本市を行っています。

主催する代表的な専門展示会には、CeBIT（情報通信）、HANNOVER MESSE（産業技術）、LABVOLUTION / BIOTECHNICA（実験技術とバイオテクノロジー）、CeMAT（インテラロジスティクスとサプライチェーン）、didacta（教育）、DOMOTEX（フロアカバリング）、INTERSCHUTZ（防災・安全）、LIGNA（木材加工・林業）など。100カ国・地域以上に計66の代表事務所、子会社、支店を展開しています。

以上

### 【本件に関するお問い合わせ】

ドイツメッセ日本代表部（一般社団法人日本能率協会内）

担当：竹生、大津、橋本

〒100-0003東京都千代田区一ツ橋1-2-2住友商事竹橋ビル14F

TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp

※日本能率協会は、2015年4月1日より、ドイツ・ハノーバーに世界最大の国際展示会会場を保有するドイツメッセ株式会社の日本におけるセールスパートナーとして、同社が主催する国産ドイツメッセ株式会社の日本におけるセールスパートナーとして、同社が主催する国際展示会への日本企業の出展・来場誘致を行っています。